

中学・高校生～

2022 年9月 no.83

よんでネット*

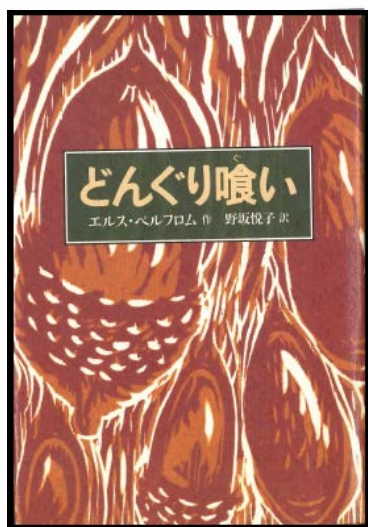
2022

秋号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

『どんぐり喰い』

エルス・ペルフロム 作
野坂悦子 訳



福音館書店[949ペ]

みんなに「クロ」と呼ばれる少年 サンチャゴは、とても貪欲で学校には通えず、豚やヤギの世話などいろいろな仕事をして家族を助けている。空腹でどんぐりを拾って食べることもある。どんぐりまで食べる「あわれな連中」とバカにされても、どんぐりは「おいしい」とクロは言い切る。軽蔑や差別を跳ねのけて生きる クロの8歳から16歳の物語。

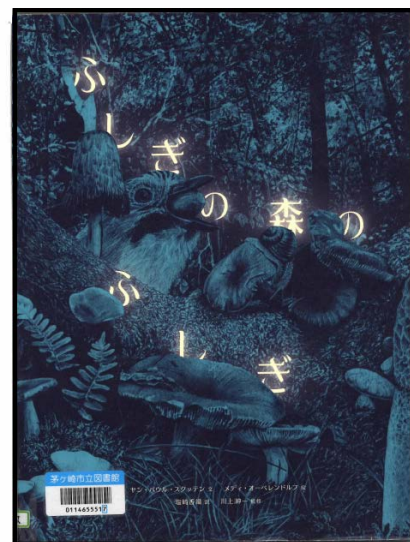
『ふしぎの森のふしぎ』

ヤン・パウル・スクッテン 文
メディ・オーブレンドルフ 絵
塩崎香織 訳 川上紳一 監修

おしゃべりする木、地球を守る緑の巨人、世界の支配者は昆虫!?

不思議で深い、森の世界へようこそ。森にひそむ不思議や秘密を、緻密なイラストと共に紹介。互いに支え合う生き物の多様性についてもよくわかる。しかし… 見えてきた! 森はひっそり静かなところではなく、生き残りをかけた戦いの場なのだ!

その戦いの行方は…



化学同人[65ス]

『シリアからきたバレリーナ』

ギャサリン・ブルートン=作
尾崎 愛子=訳
平澤 朋子=絵

内戦のシリアから逃げ、イギリスにたどり着いた11歳の少女アーヤ。途中で父とはぐれ、母と弟を支えて、難民支援センターで申請手続きに並ぶ日々だ。センターの庭に聞こえてきたのは、バレエの音楽。シリアでバレエをしていたアーヤは、自分が幸せだった頃を思い踊り出す。バレエ教師ミス・ヘレスは、そんなアーヤの才能を見出すのだが...

偕成社[933ブ]▶



『徳治郎とボク』

花形 みつる



理論社[913ハ]

浦賀に住むボクのお祖父ちゃん「徳治郎」は、大正12年生まれ。お祖父ちゃんには、犬のシロと4歳だったボクを山の畑へよく連れて行ってくれた。途中、富山を眺めながら、自分のちっせえときの話を聞かせてくれた。餓鬼大将だったこと、いたずらっ子だったこと、虫捕り自慢... 今では許されないいたずらやケンカの話もスカッとして楽しかった。

中学生になった今も、ボクは子どものお祖父ちゃんが大好きだ。

『古典がおいしい! 平安時代のスイーツ』

前川 佳代
穴戸 香美

清少納言も食べたけずり氷。『源氏物語』の貴公子たちが食べた椿餅。『土佐日記』にでてくるドーナツに似たお菓子“まがり”など、平安時代の文学作品には多くのスイーツが登場します。

この本では、平安時代のスイーツの再現レシピを写真入りで紹介。あなたも、古典作品を読みながら平安時代のスイーツを味わってみませんか?

かもがわ出版[38マ]▶

